

# 緑化委員会広報

## 住環境の整備に努力

委員長 林 勘治

あけましておめでとうございませう。

今年も緑化委員一同、住み良い環境づくりに努力したいと思っております。

入居以来18年目を迎え、委員会のメンバーも30人規模になりました。

今年の作業計画としては、定例以外に2年前から始めた枯れ死した生け垣の植え替え作業を業者に依頼



南斜面のユキヤナギせん定作業=12月4日

して引き続き実施します。また、管理組合事務所前のイベント広場脇の大きなケヤキの木を業者に依頼して伐採する方向で準備を進めています。大きく成長した根幹がタウンハウスの建物の基礎部分に入り込み、影響が出ると指摘されているからです。今年も皆さんの協力をお願い致します。

### イベント広場のケヤキを伐採

#### 根の成長で建物への影響考慮

管理組合事務所前のイベント広場脇にある高木のケヤキを伐採することになりました。

根幹が大きくなるにつれ、根の先端がタウンハウスの基礎部分に食い込み、建物の管理上、支障が生じる恐れがあると指摘されたためです。

ケヤキは公園や街路樹、寺社の境内、参道など建造物から離れた場所に植えられるケースが一般的のよう

です。昨年末に専門業者の意見を聞いた上、理事会に伐採案を提案し了承を得ました。

#### 今年前半の作業予定

毎年実施している業者による中高木せん定などの作業を2月上旬から行います。

■中高木のせん定 3月末までの予定で実施。せん定する中高木を白色テープでマーキング。

### 触れ合いを大切に

香村 義隆

昨年のことであるが、自分には吃驚（きつきょう）したことが一つあった。

それは同じ鶴牧ホームタウンの住民で、しかも同じ緑化のメンバーの中に、何と小中学校の先輩がいたというのである。

申し遅れましたが、私の古里は群馬県ですが、本来、恵比寿にあった我が家が戦災で失われ、疎開先の愛知から群馬に移り変わり、そこで小中学校を終えたわけです。

先輩の話によれば、私と同じような境遇であったと

聞いております。

緑化委員会は団地の環境美化を図るため、志を同じくするメンバーが集い、作業を通じて共に汗を流し、語らいの場として貴重な存在になっているが、今回のことも情報交換を通じて知り得ることができたということです。

曰く、「自分は学校の後輩になるが、緑化委員会では先輩であることを」。緑化メンバーとして既に何年経ったかは忘れましたが、今後とも人との触れ合いを大切にしつつ、作業も微力ながら頑張っていこうと思っております。本年もよろしくお願ひします。

昭和52年3月、落合3丁目の高台にそびえる11階の団地9階に入居。その当時は、あたり一面広い原野で、戦車のように大きな掘削機が毎日、小高い丘を削っていた。

### 今年も頑張りたい

会田 修

■生け垣修復 枯れ死したタウンハウスの生け垣などを修復。ベニカナメをサンカとドーダントツツジに植え替え。作業は3月いっぱいを目途に予定。

■ケヤキ伐採 2月中旬に実施。土、日曜日は中止。

多摩センター駅周辺には、お店の一つもなく、屋台のおでんやに立ち寄るのが唯一の楽しみであった。30代半ば、理事になった際、ソフトボールのクラブを立ち上げ、公私ともに楽しく過ごし、充実していた。



伐採する広場のケヤキ

時期でもあった。

平成元年、当団地に引越すことになり、当日の朝、ラジオから美空ひばりお嬢の訃報が流れてきたのを今でも鮮明に覚えている。それからすでに17年が経過した。

私が緑化委員会に入る切っ掛けは、理事会の理事長になり、緑化委員の皆さんが当団地のために、植栽、夏祭り、年末のもちつき会等に労を惜しまず働く姿に感動させられたのと同時に、役員、会員の方々の少々強力な？ 誘いに負け入会させていただいた。

また、朝の散歩にも参加させていただくことになった。新年を迎え、今年も戦前、戦中、戦後生まれの皆様方と、60歳を過ぎた自分のために無理せず頑張っていきたいと思っております。今年もよろしくお願ひします。



もちつき会に子供たちも参加＝12月25日

### 謙虚をモットーに努力したい

田上 順次

今年が戊（いぬ）年、私の当たり年です。緑化委員の仲間では比較的若い方かと思っていました。今年、還暦を迎えます。還暦とは「本卦還り（ほんげがえり）」といって、十千十二支が60年で一回りし、生まれた年の干支（えと）に戻ることで「赤ちゃんに還る」という意味もあるようです。馬齢を重ね続けた私ですが、新たな気持ちで人生を見直したいと思っています。昨年までは最年長であったというので、緑化委員

### 年末もちつき会

子供たちも参加

年末の恒例行事になった団地有志による「もちつき会」が昨年12月25日、子供たちも参加して行われました。写真。「もちつき会」を始めた

### 定例作業報告

(9月、1月)

当初は、素人集団で悪戦苦闘したようですが、今ではみなさんの腕も上がり、用意した35キロのもち米を次々につき上げました。今年丸もちをやめ、板もちだけに切り替えたため、丸める作業の手間もかからず、手際よく処理できました。

もちつき後はベテラン調理師が朝から仕込んだ「とん汁」を食べながら楽しく歓談しました。



ギター演奏でのど自慢大会



特製とん汁で忘年会

緑化委員会については諸先輩方のおかげで輪番理事会運営の助言や夏祭り、餅つきまで重要なサポートをしてくれていますので、団地住人には心強い存在だと思えます。

### 安全最優先で緑化作業を

末木 雅貴

私も平成10年の理事経験以降、緑化委員会に強制加入された口ですが、ボランティア精神を学び、ついでに運動不足解消とともに皆さんとの交流ができてうれしく思っています。

▼委員会への要望  
毎月の作業だけでも相当

な経費削減を実現していると思えます。しかし、現在行っている作業の中で、中高木の伐採など木によじ登り作業をする場合には危険を感じます。作業時にはよじ登りを禁止し、中高木用の「三角はしご」を買い足すなどして安全最優先の作業体制を確保してほしいです。

### 今後の活動方針

作業日にはもう少し若い参加者が増える体制を考えなければなりません。緑化委員会の実態を理解して負担軽減を目指してまいります。

### 輪番で要員確保期待

理事会、防災同様に輪番制にし広報で常時要望を載せて協力を求め続けることでしょうか。いつも参加する常用（笑）の中高年の負担軽減を目指してまいります。

### 編集後記

新年号の緑化広報はカラー版でお届けします。新春を迎え、委員の方からの決意表明や意気込み、緑化委員会への貴重な提言などを寄稿していただきました。

専門業者による春までの当面の作業日程を載せました。（編集担当）